

2013年度 厚木えんかんサークル懇談会報告

残暑お見舞い申し上げます

立春も過ぎましたが、猛暑の候、代表者の皆さんはお元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。さて、去る7月8日(月)から10日(水)に、厚木えんかんのサークル懇談会が開催されました。今回、38(8)サークル61(9)名と、参加率62.3%(25%)、(カッコ内は未サークル)と、少ない参加率でした。

2014年度(2014年3月~15年2月)の例会レパトリー決定については、持ち越しに...

2014年レパトリー提案にあたり、6月例会『どろんどろん』で、「ステージ7号」と「レパトリー提案とその理由」と「提案に対する意見提出用紙」を全会員に配付し、サークル懇談会で提出を受けました。

神奈川ブロックでは6作品を例会レパトリーとして提案し、厚木えんかんの方針も「ブロックの6作品の実現をめざす」としていましたが、来年度については、厚木はブロック作品は2作品、あとは実際に幹事で観て良かった小ホール作品3作品を提案しました。その理由は、会員数の減少、海老名が厚木会場での合同例会の解消を決めた事、が大きな要因です。

しかし、この提案の承認は24(4)サークルに留まり、幹事会では、この数字ではサークルとの合意を得られたとは言えず、懇談会で出された様々な意見を元に、神奈川ブロックや劇団と相談しながら、何よりこの現状を会員みんなで共有し、会員の減少を止めて会員増に会員みんなで取り組む事を前提に、改めて今秋に懇談会を再度開催し、新たなレパトリー提案するに至りました。

《小ホール提案作品》

茂山千五郎家公演

『お楽しみ狂言』

松元ヒロ公演

『松元ヒロ・ソロライブ』

萩生田千鶴子とマリオンネット公演

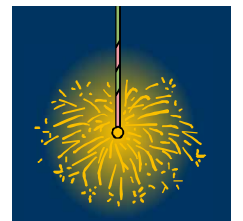
『朗読と音楽の夕べ』

《懇談会出された主な意見》

これまでの小ホール作品は良かった。小ホールは舞台との一体感がある。自分が知らない舞台との出会いが楽しみ。厚木の小ホールと神奈川ブロックの他作品を選べるし、また両方観られるので良いと思う。会費を値上げ(2400円 3000円)にしても、大ホール作品を。3本小ホールだと、新しい会員を誘いにくい。大ホール1本増やすために、家族会員の一人目は一般と同じで、二人目から2000円したらどうか。小ホール3本は厳しい気がする。演鑑のとしての主旨を考え直す時期の様なきがしないでもないです。そのために、家族会費の値上げも検討の一つに入れ例会作品をレパトリーを決めて頂きたい。小ホールにあまり魅力を感じないので3回を1回にして大ホールの演劇を見たいと思いたい。演鑑を辞めてしまう人が増えるのではないかと危機感を感じます。小ホールの上演が3回も続かないにして欲しい。そのための家族会員の会費については段階的に、値引きをなくしていけば良いと思う。年4回で、大ホールの演劇が増える方がいいかな? 小ホールだと舞台装置が淋しく感じる。等々

上半期活動報告、財政報告、その他について...

レパトリー作品と財政についてはリンクするので、財政報告(状況)と平行してレパトリー案を提案したので、上記のような発言が出てきました。そのため活動報告については、ほとんど時間が取れなかったが、自己紹介の中で、運営サークル活動の楽しさや活動内容についての課題などが交流できました。神奈川ブロック内では、厚木独自の「会費引落し制度」については、参加者のほぼ99%が現状維持を希望しました。ただ、持参してもいいというサークルもありました。鑑賞会とのサークルのコミュニケーションを深めるならば、このような懇談会を年数回開催してもよいのではないかと意見も出されました。神奈川ブロック内では、厚木独自の「振替券制度」については、実際に利用したことのある人が少なく、廃止しても良いのではないかと意見が多数を占めました。



【会員動態】(8/12現在)

入会数 / 3名

退会数 / 21名

会員数 / 542名(今年度予算会員より、-40名)

サークル数 / 79

サークル全員で声掛けして、会員の輪を広げましょう!